

ウキシバ

Pseudoraphis ukishiba Ohwi

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

今回の調査で確認された県内の生育地は4ヶ所で、内浦区の記録は1990年代の標本記録によるものである。(現況:R-)

形態

円錐花序は、15~30本の芒状の枝を分け、それぞれの枝の中ほどに1小穂をつける。小穂は2小花からなり、第一小花は雄花、第二小花は雌花。

国内分布

本州~九州。

県内分布

内浦区(珠洲市正院町)、中能登区(七尾市、志賀町)、口能登区(宝達志水町志雄地区、津幡町岩崎)。

生態など

水辺に生える多年草。稈は水中を伸長し、花序のみを水面の上に出す。

生育環境

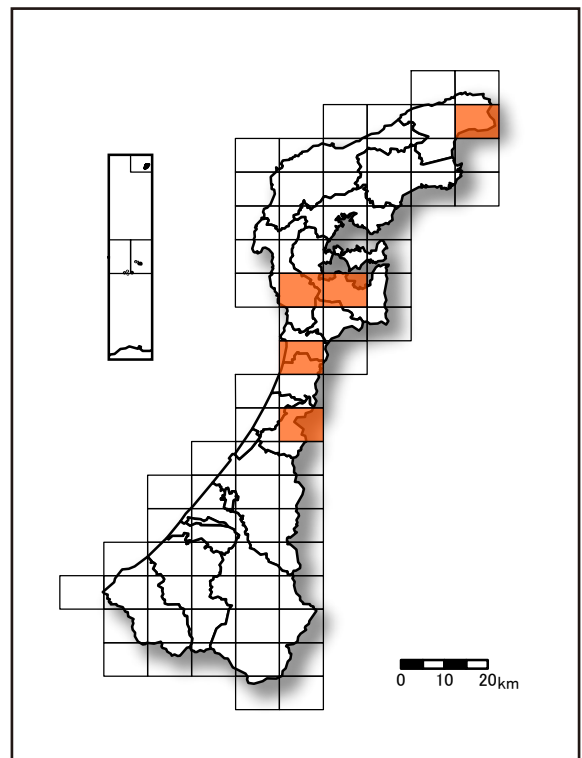
ため池などの水湿地。

危険要因

池沼開発、動物被害、産地局限。津幡町の自生地は、アメリカザリガニによるとみられる稈の切断により、個体群が著しく衰退している。



白井伸和・2009年9月23日・津幡町



県内の分布